

経営比較分析表（平成29年度決算）

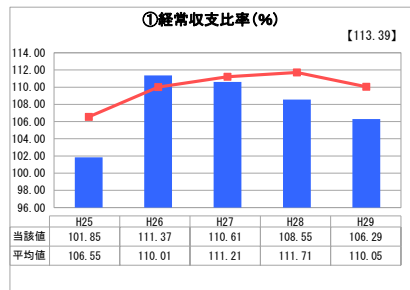
北海道 遠軽町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	56.85	92.92	4,104	

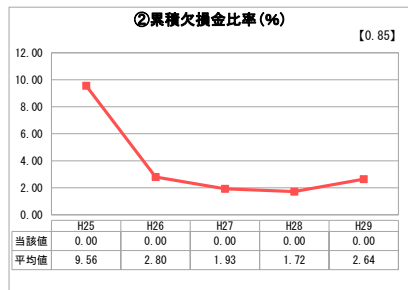
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,362	1,332.45	15.28
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
18,652	37.61	495.93

グラフ凡例	
■	当該団体の値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

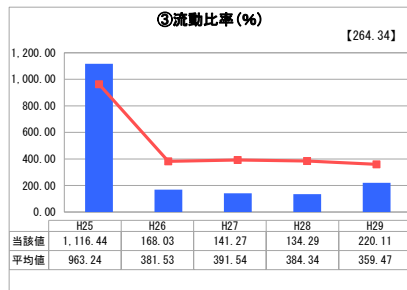
1. 経営の健全性・効率性



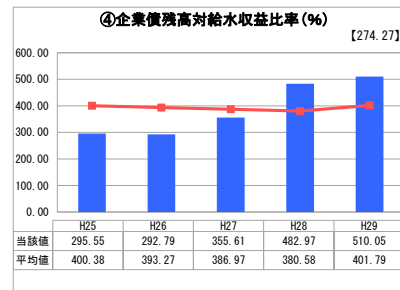
「経常損益」



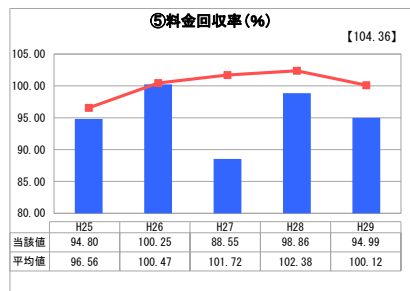
「累積欠損」



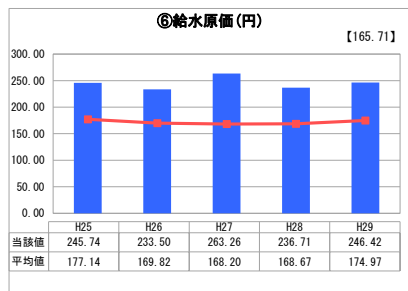
「支払能力」



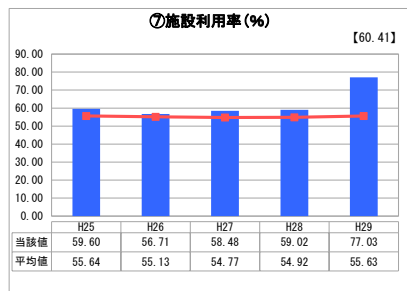
「債務残高」



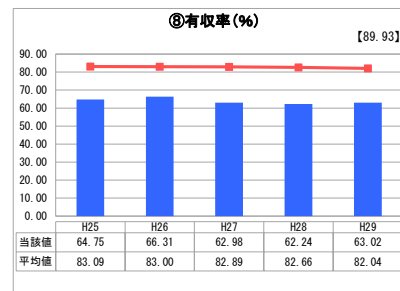
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

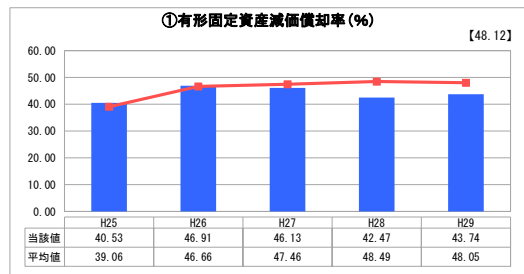


「施設の効率性」

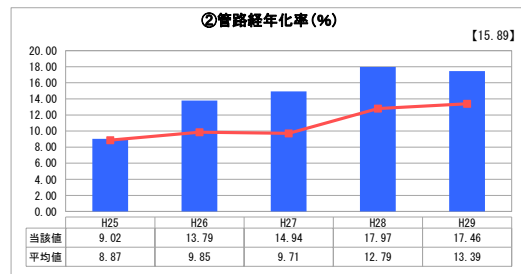


「供給した配水量の効率性」

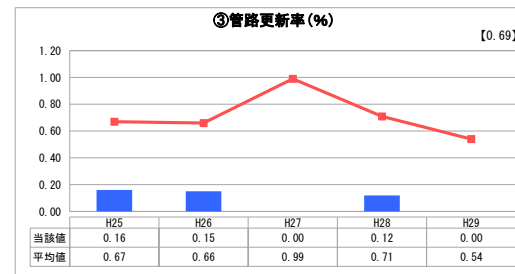
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、100%を超えており、単年度収支は黒字で、累積欠損金は発生していないが、平均値を下回り、減少傾向にある。

流動比率は、前年度に比べ増加したが、平均値より低く、内部留保資金が少ないため、今後の事業にかかる費用を考慮し、自己資金の確保を検討する必要がある。

企業債残高対給水収益比率は、近年増加傾向にあり、平均値を上回っている。今後予定されている事業の実施により企業債残高の増加は続くため、補助金の活用や広域化を検討する必要がある。

料金回収率は、浄水場設備更新による費用増加のため、前年度に比べ減少しており、平均値を下回っている。

給水原価は、前年度に比べ増加しており、有収水量1m³あたりの費用が高んでいるため、有収率の改善や経常費用の縮小化を行う必要がある。

施設利用率は、平均値より高く、前年度に比べ大幅に上昇している。

有収率は、依然として平均値を下回っているため、漏水によって施設利用率が高くなることが予想される。老朽管の更新を計画的に行い、漏水対策を行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、前年度に比べわずかに増加したが、平均値は下回っている。今後も引き続き老朽化施設の更新を計画的に行っていく。

管路経年化率は、平均値を上回っているため、引き続き老朽管の更新等を計画的に行っていく。

全体総括

資産の老朽化に伴う更新時期の到来や人口減少等に伴う料金収入の減少等により、経営環境は厳しさを増しているなか、無駄のない経営を行うために有収率の向上を図ることが喫緊の課題である。

使用水量の減少や老朽施設の更新等を加味し、適正な料金水準に基づく料金設定の検討を進めなければならない。

また、将来にわたってサービスの提供を安定的に継続することが可能となるように「経営戦略」を策定し、効率的かつ、安定的な経営を行っていく。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表（平成29年度決算）

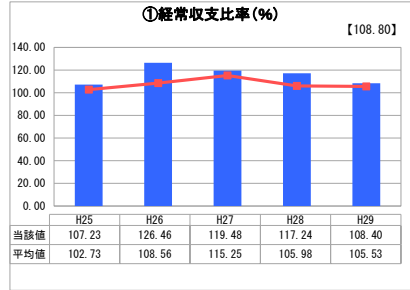
北海道 遠軽町

業務名	業種名	事業名	類似団区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	62.04	68.62	58.16	4,104

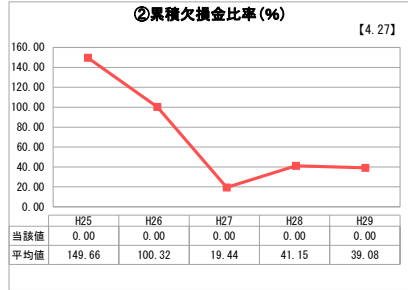
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,362	1,332.45	15.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,805	4.90	2,817.35

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

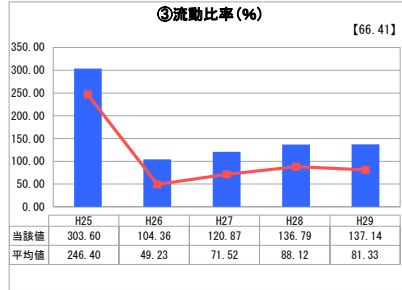
1. 経営の健全性・効率性



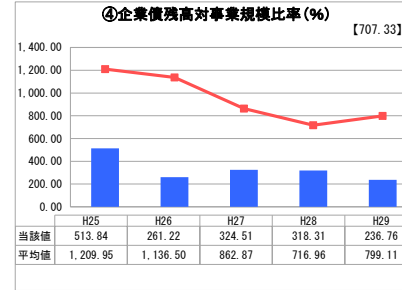
「経常損益」



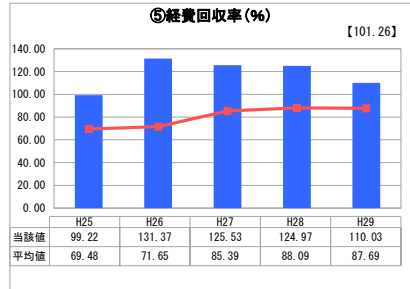
「累積欠損」



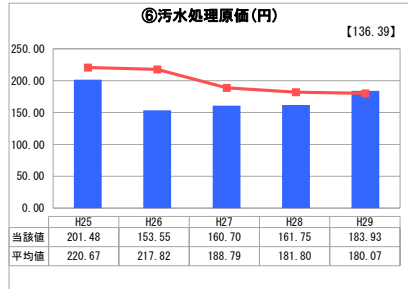
「支払能力」



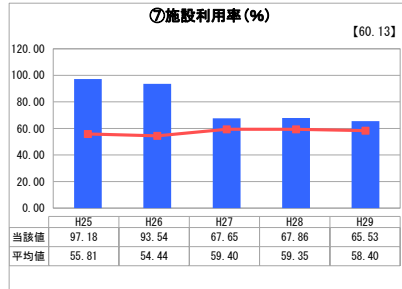
「債務残高」



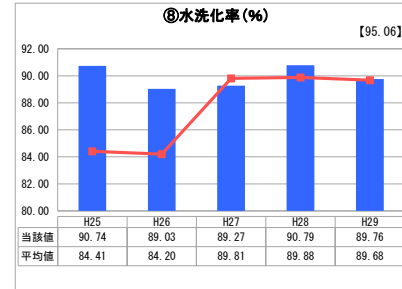
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

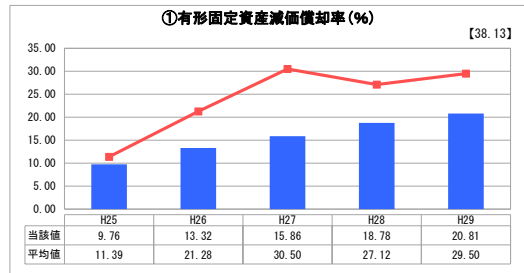


「施設の効率性」

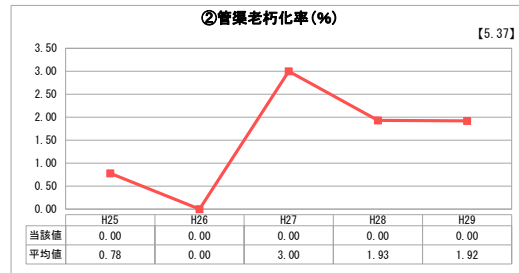


「使用料対象の捕捉」

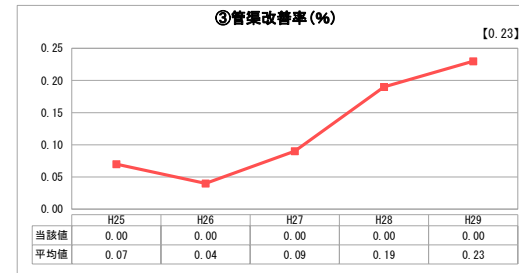
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、100%を超え、単年度収支は黒字であり、累積欠損金は発生していない。
 流動比率は、100%を上回っており、短期的な債務に対する支払い能力はある。
 企業債残高対事業規模比率は、依然として平均値より低くなっており、健全な経営であるといえる。
 経費回収率は100%を上回っており、汚水に係る費用を下水道使用料で賄っているが、減少傾向にある。
 汚水処理原価は、処理場設備の更新による資産減耗費の増加が要因となり、前年度に比べ増加した。
 施設利用率は、平成27年度に処理水量の増加に対応できるように処理能力を増強したことにより数値が減少した。
 水洗化率は、前年度に比べやや下落した。使用料収入の確保を図るため、水洗化率向上に繋がる取組みを講じていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、平均値より低いが、遠軽町の公共下水道事業は昭和60年供用開始しており、30年以上が経過しているため、年々増加している。
 管渠については、標準耐用年数である50年を経過した管渠はないが、今後10～20年後に改築・更新を要し、計画的な更新が必要となる。
 処理場、ポンプ場の機械、電気設備については、改築、更新の時期を迎え、計画的な改築、更新を実施している。

全体総括

今後人口減少に伴う使用料収入の減少が避けられないことに加え、処理施設や管渠の老朽化が進み、計画的な更新とそれに伴う財源確保が課題となるため、投資の効率化と維持管理費等の削減により経営改善を図っていくことが必要である。
 また、「経営戦略」に基づき経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組み、事業の安定的経営を行っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表（平成29年度決算）

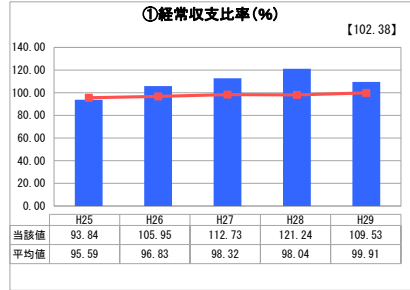
北海道 遠軽町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)
-	78.06	10.13	69.79	4,104

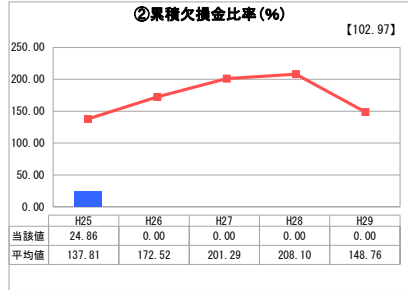
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,362	1,332.45	15.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,037	1.82	1,119.23

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

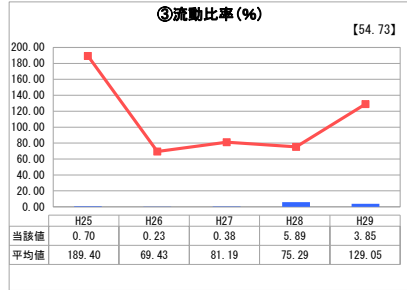
1. 経営の健全性・効率性



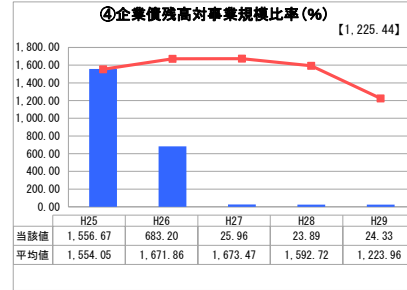
「経常損益」



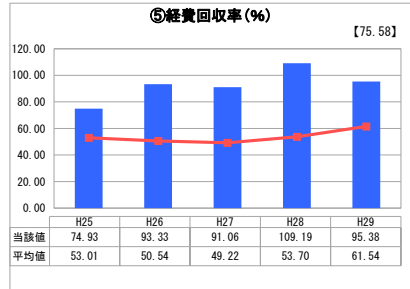
「累積欠損」



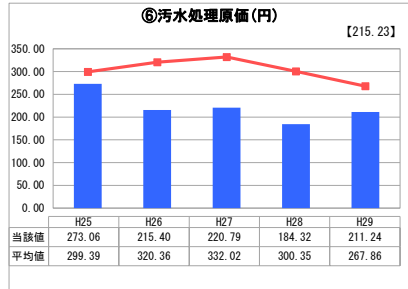
「支払能力」



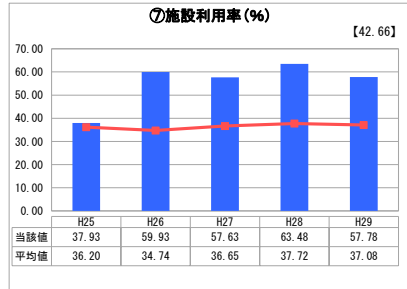
「債務残高」



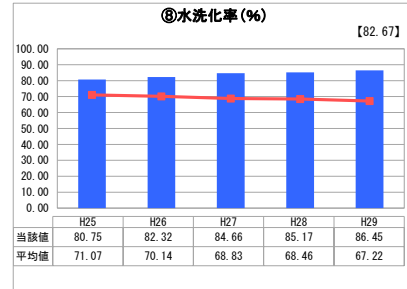
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

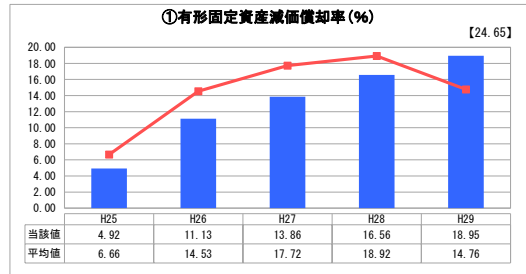


「施設の効率性」

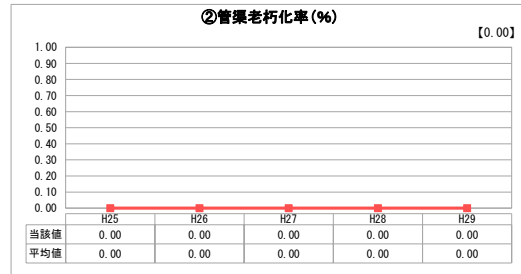


「使用料対象の捕捉」

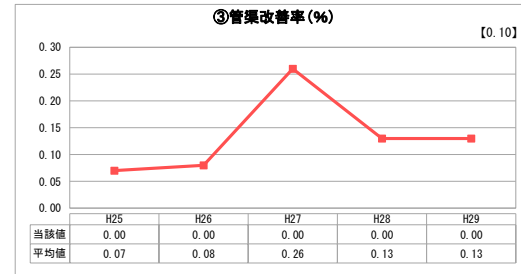
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、100%を超え、単年度収支は黒字であり、累積欠損金は発生していない。
 流動比率は、100%を下回っているが、建設改良費等に充てられた企業債がほとんどを占めており、将来、企業債の償還原資は料金収入等により賄われる予定である。
 企業債残高対事業規模比率は、平均値を大きく下回っており、低い値で推移している。
 経費回収率は前年度に比べ下落し、100%を下回ったため、汚水に係る費用を下水道使用料で賄うことができず、一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況である。
 汚水処理原価は、処理場設備の更新による資産減耗費の増加が要因となり、前年度に比べ増加した。
 施設利用率は、平均値を上回っており、施設が有効に活用されているといえる。
 水洗化率は、平均値を超えているが、使用料収入の確保を図るため、水洗化率向上に繋がる取組みを講じていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は年々上昇しているが、遠軽町の特定環境保全公共下水道は、平成16年供用開始しており、施設は老朽化していない。

全体総括

今後人口減少に伴う使用料収入の減少が避けられないことに加え、処理施設や管渠の老朽化が進み、計画的な更新とそれに伴う財源確保が課題となるため、投資の効率化と維持管理費等の削減により経営改善を図っていく必要がある。
 また、「経営戦略」に基づき経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組み、事業の安定的経営を行っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表（平成29年度決算）

北海道 遠軽町

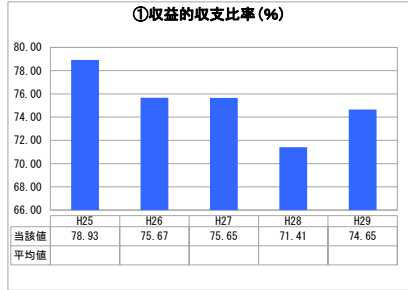
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	0.95	100.00	2,872

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,362	1,332.45	15.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
191	7.55	25.30

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



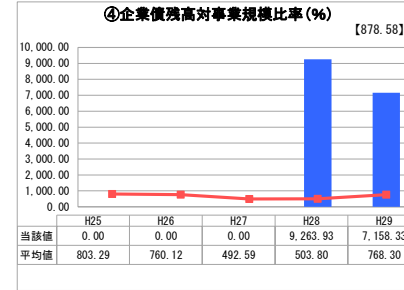
「単年度の収支」



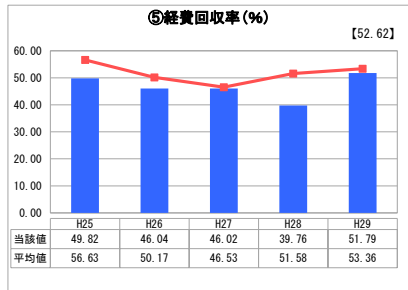
「累積欠損」



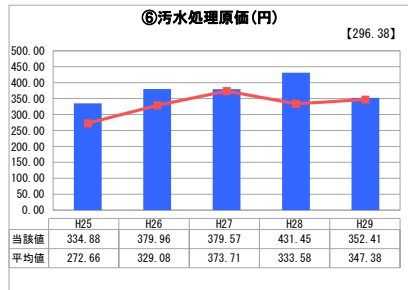
「支払能力」



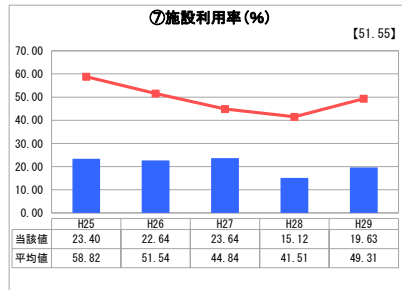
「債務残高」



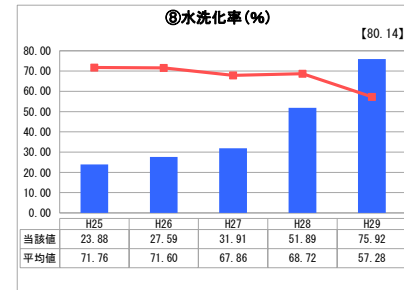
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

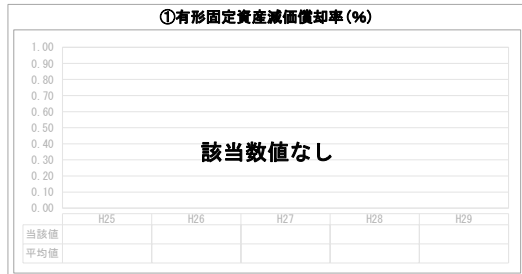


「施設の効率性」

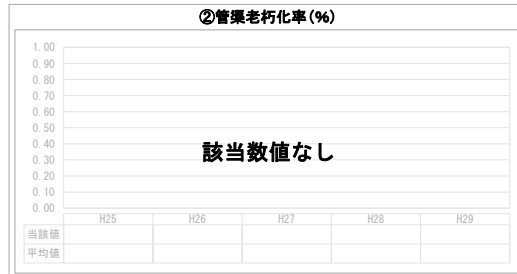


「使用料対象の捕捉」

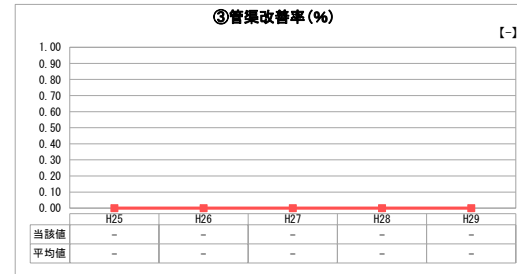
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成27年度に生活排水処理基本計画を策定し、翌平成28年度より対象区域を拡大したことにより、合併処理浄化槽の設置基数が増加している。これにもない債務残高が増加しており、経費回収率も減少していることから、使用料金体系の検討が必要と思われる。

水洗化率については、今後も事業を推進することにより、下水道処理区域外の浄化槽人口の増加が見込まれることから、更なる個別排水処理施設の整備を推進する。

2. 老朽化の状況について

平成18年度から個別排水処理施設整備事業を開始しているため、現段階で老朽化は進んでいるとは言えないが、浄化槽の耐用年数等を踏まえ、将来の施設の更新等について検討する必要がある。

全体総括

平成18年度から個別排水処理施設整備事業を開始し、丸瀬布及び白滝地区の公共下水道処理区外の合併処理浄化槽の設置による生活環境保全を図ってきた。

平成27年度に遠軽町生活排水処理基本計画を策定し、遠軽及び生田原地区を公共下水道区外を事業対象区域としたため、平成28年度より建設改良費及び維持管理費、地方債償還金が増加している。

計画期間が平成37年度までとなっているため、今後も経費の増加が見込まれるが、経営の健全性及び効率性を踏まえたうえで事業を推進していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。